

三重大学地域戦略センター 学生スタッフ

■三重大学地域戦略センター学生スタッフとは？

学生スタッフは、三重大学地域戦略センター（以下、RASC）と共に活動する学生組織です。「せっかく三重県にいるのだから、大学を飛び出して三重県のために何かやってみたい」という想いを持つ学生が集まり、平成24年3月から動きはじめました。三重県中の地域からRASCを通して依頼された活動や学生自らがやりたいと始めた活動、同じような活動をしている他大学との交流など数多くある活動は、メンバーの中で興味を持った学生がチームを組み、プロジェクトとして、活動・運営を行っています。

■三重大学地域戦略センターとは？



通称：RASC(ラスク)＝Regional Area Strategy Center（英語表記）

三重大学地域戦略センターとは、地域づくりや地域発展に貢献するとともに、地域社会との双方向の連携を推進し、大学が生み出し蓄積している知的財産と人財を地域の自治体や産業界などに還元することを目指し、地域が抱える課題へのベスト・ソリューションを提供する新

時代の「地域づくりの総合シンクタンク」です。本学の社会連携センターの一部門として平成23年4月に新設されました。

詳しくはホームページ <http://rasc-mie.jp/> をご覧ください。

（写真：西村センター長と学生スタッフ）

■活動の目的

学生スタッフに参加する学生の目的は、多種多様です。人と触れ合うのが好きだから、農林水産業に興味があるから、まちづくりをしたいから、社会に出たときに役立つスキルを身につけたいからなどなど。あえて共通の目的を掲げないことで、活動の多様性が保たれ、それぞれの学生の成長にもつながっています。

2012年度のプロジェクト

それでは、具体的にどのような活動を行っているかについて紹介したいと思います。下の表が2012年度のプロジェクトの一覧です。

(表1) 2012年度のプロジェクト一覧 □内は活動場所の市町

年 月	2012										2013	
	3	4	5	6	7	9	10	11		12	1	2
プロジェクト名	①三重県観光活性化研修ミナ桜美林大学 [紀北町]・[松阪市]	②新歓答志島旅行 [鳥羽市]	③中心市街地活性化オープンディスカッション [津市] (10月まで月一回)	④お茶摘みのお手伝いと加工作業体験(神原地区) [大紀町]	⑤尾呂志地区 米の歳時記作り [御浜町]	⑥尾鷲まちづくり夏合宿ミナ慶応大学 [尾鷲市]	⑦津祭りボランティア [津市]	⑧宇氣郷マップ作り [松阪市]	⑨みかん収穫体験 [熊野市] (11・12月)	⑩南部地域活性化事業合宿 [御浜町]	⑩南部地域活性化事業合宿 [南伊勢町]	ベストプラクティスコンテスト

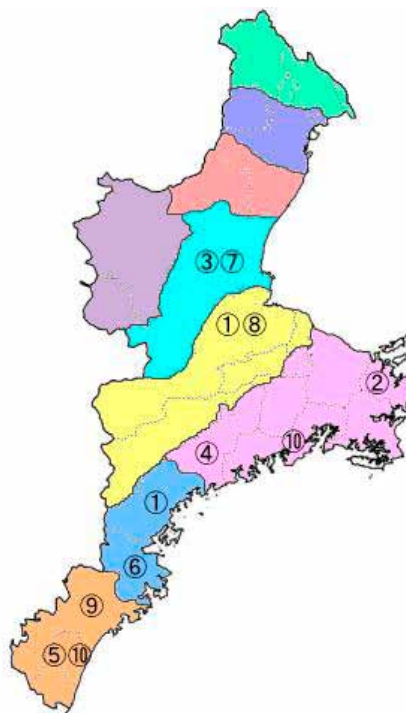


表1に示したプロジェクト以外にもメンバーの親睦を兼ねたイベント・食事会なども行っています。また毎週金曜日の昼休みには定期ミーティングも行い、各プロジェクトの進行状況、報告発表会、新プロジェクトの紹介をしています。次に表1にありますプロジェクトを2つ取り上げ、詳しく紹介したいと思います。

■プロジェクト内容

・みかん収穫体験（場所：熊野市 日程：2012年11月・12月）



11月・12月と二回にわたり、熊野市にある金山パイロットファームで一泊二日のみかん収穫体験を行いました。三重県の南紀についてもっと知りたいという学生の「想い」と、旬の時期に人手不足で収穫が追い付かなく、助けてほしいという地域の「願い」がRASCを通じて形を結びました。「収穫を通して南紀の現状を知ろう、地域経済の助けになりたい」学生

スタッフ自ら県農業普及センターや同農園と連絡をやりとりし、当日のプログラムを組み立て、運営も行いました。人手不足を克服するために、学生スタッフのメンバーだけでなく、一般学生へも募集をかけ、20~30人単位で現地へ赴きました。社会人と一緒に企画をし、実行するという事は、学生時代にはなかなか経験できないことです。当日はみかん栽培について詳しいお話を伺うことができ、収穫自体も初体験の学生が多く、大変貴重な経験となりました。

（写真：みかんの収穫方法について説明を聞く学生）

・津市中心市街地オープンディスカッション

（場所：津市 日程：2012年5月から10月まで、毎月一回）

5月から10月にかけて月に一回、津市の中心市街地活性化について地域の方々・学生・行政職員が参加してディスカッションを行いました。学生スタッフは、RASC職員・津市職員の方々と一緒に会場設営や運営、ディスカッショングループの進行役や発表者として参加しました。参加者ひとりひとりの意見に耳を傾け、それらをひとつの意見としてまとめ上げ、大勢の前で発表をするということは大変難しく、大きなやりがいを感じるものでした。もっと上手伝え方があったのではないかと、もっと参加者の意見を上手く引き出したのではないだろうか、毎回反省をしながら、人が集まってまちづくりや地域活性化を考え

ることの面白さや楽しさ、難しさを実感できた素晴らしいプロジェクトでした。



(写真左：当日の受付をする学生) (写真右：ディスカッションの様子)

■メンバー構成



約 50 名の学生が所属しており、それぞれのメンバーが外務部・内務部・広報部の 3 つの部門に分かれ、協力しながら組織を運営しています。

三重大生だけではなく、三重短大や名城大からも学生が参加しており、みんなで楽しく活動しています。

外務部・・・RASC 職員や学内・学外との情報のやりとり

内務部・・・ミーティングの運営・メンバー管理などの内部運営

広報部・・・HP やリーフレット・ポスター・活動記録等の作成と運営

活動については、プロジェクトごとにチームを作っています。

学生スタッフでは各部の部長 3 名が共同代表を務めています。

■課題と今後の方向性

1. 課題について

・組織結成からまだ1年と日が浅く、組織運営の実行がまだまだ不慣れです。外務・内務・広報の綿密な連携を図り、今まで以上に活動を円滑に行えるように組織運営の仕事に早く慣れることが大切です。

・地域戦略センターの名前を冠する組織として、また社会人と一緒に活動することが多いので、学生にも責任感が必要です。その意識の統一が必要です。

・学業や就職活動のおりあい、学生一人ひとりの予定がなかなか合わず、プロジェクトの話し合いの時間が上手くとれないことがあります。学業との両立について見直す必要があります。

2. 今後の方向性

まだできたばかりの組織ですので、今後の方向性まで話し合えていないのが現状です。しかし、メンバーの夢ややりたいことはたくさんあります。たとえば、三重県ならではの商品を自分たちで作って大学祭などで販売したい、広報誌などを作って大学内や県内に広く活動や組織を知ってもらいたい、もっとたくさんの三重県の地域を訪れたいなど。学生スタッフのメンバーが生き生きと元気に、そして楽しく活動をしていくことで、訪れた地域がもっと元気となってくれるような、そんな組織でありたいと考えています。訪れた地域から三重県全体へ、さらに日本中、そして世界へとその「元気」がどんどん広がっていくように、活性化の起爆剤として学生スタッフは活動に努めていきたいと思えます。

地域戦略センター学生スタッフ公式ホームページ

<http://rascgakuseistaff.jimdo.com/>